

身体拘束最小化に対する当院の取り組み

当院では、患者さんの尊厳と安全を大切に、安心して療養できる環境づくりに努めています。身体拘束は、患者さんの行動や自由を制限する行為であり、身体的・精神的負担を伴う可能性があるため

当院では、『身体拘束を行わないケア』を基本方針とし、身体拘束最小化に取り組んでいます。

私たちは、

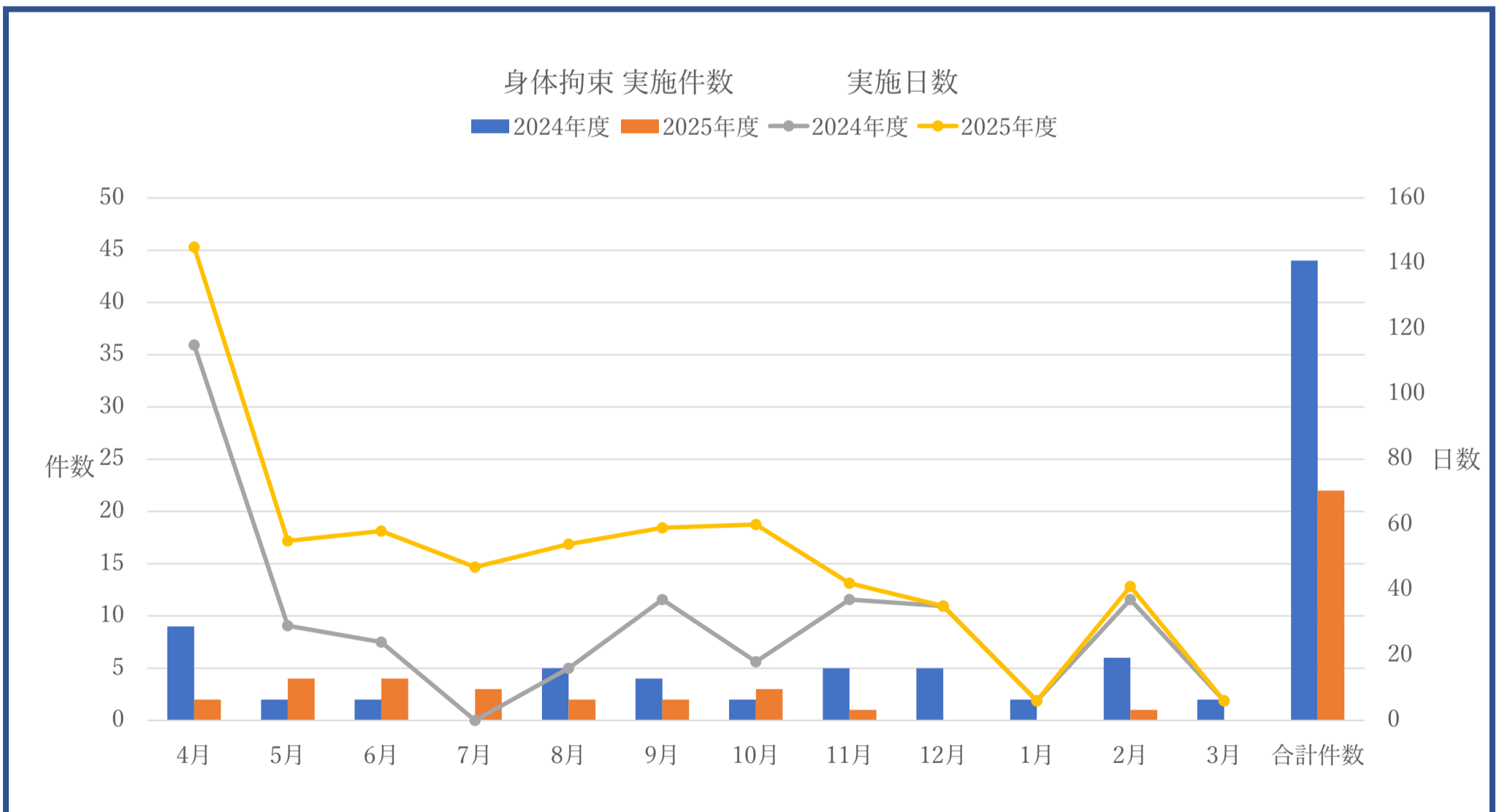
転倒予防の工夫、環境調整、見守りの強化、身体的・精神的苦痛への対応、生活リズムを整える支援、多職種カンファレンスなどを行い、身体拘束以外の方法を検討しています。

患者さんの生命や身体等の安全確保の必要がある場合には、やむを得ず身体拘束を実施することがあります。

その場合には、

ご本人・ご家族への説明、定期的な評価、早期解除に向けた検討を継続して実施し必要最小限の実施に努めます。

医師、看護師、認知症サポートチーム、リハビリスタッフ、薬剤師、医療ソーシャルワーカーなど多職種で連携し患者さんの安心と安全を支援しています。



患者さん一人ひとりの尊厳を大切に、安心して療養できるよう支援してまいります。

